



# 中小企業のための AI導入ガイド

活用事例・失敗パターン・小さく始める進め方

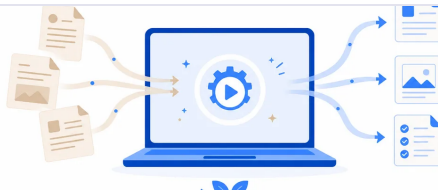
つむぎや株式会社（2026年7月版）

# この資料でわかること



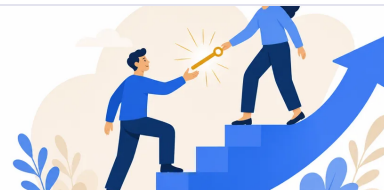
## Part 1 | 活用事例

AIで「自動で終わる」ようになる仕事 — 業務別の活用例と公開事例



## Part 2 | 失敗パターン

数字で見る「なぜ8割が失敗するのか」と、避けるための3原則



## Part 3 | 進め方

小さく始める導入5ステップ — 明日から動ける手順とチェックリスト

## いま読む価値がある理由

- 中小企業のAI導入率は **20.4%** — 約8割はまだ導入していません（中小企業基盤整備機構・2026年3月調査）。**今始めれば、同業他社に先行できます**
- つまずきの最大要因は「何から始めればいいのか分からない」（**62%**・株式会社Leach調査）。必要なのはツール選びではなく、**進め方**です

# Part 1 | AIで、こんな仕事が「自動で終わる」ようになります

---

| 業務        | AIができること                     |
|-----------|------------------------------|
| 請求書・帳票の入力 | PDFや紙の請求書を読み取り、会計ソフトに入る形に整える |
| 議事録の作成    | 会議の録音から要点を整理した議事録を書き起こす      |
| 問い合わせメール  | よくある質問への返信文を下書きし、人は確認して送るだけ  |
| 見積書・提案書   | 過去の資料や条件から、たたき台を自動で用意する      |
| SNS・ブログ発信 | 文章の作成から画像の用意まで発信作業を肩代わり      |
| 定型レポート    | 毎週・毎月の集計や報告資料を自動でまとめる        |

共通点は「**時間はかかるが、やることが決まっている仕事**」。ここがAIの得意分野です

# 公開されている成果の例

---

**1,278**時間/月

リディッシュ株式会社が公表した、飲食店支援業務へのAI活用による月間の業務削減時間

**60**%

AI活用に成功した中小企業のうち「経営者自身が推進役」だった割合（株式会社アノテ調査）

**4**倍以上

経営層が関与する企業の1年後定着率は81%、無関心な企業は18%（MIT Sloan Management Review）

ポイントは「大企業だから成功した」事例ではなく、  
**経営者が自分ごととして小さく始めた会社**が成果を出していることです

※出典の詳細は巻末に記載

# 一番身近な事例 — つむぎや自身の全自動運用

私たち自身が「毎日AIで働く会社」です。このガイドの発行元であるつむぎやでは:

- **ブログ運用をほぼ全自動化** — 調査 → 執筆 → 画像・スライド生成 → 投稿を毎朝AIとの協働で実行し、**AI実践記事を100本以上**公開しています
- **業務の見える化ツールを自社開発** — 仕事の内容を話すだけで業務の流れが図になる無料ツール **DrillSpark** を開発・運営
- スライド作成・データ分析・この資料自体もAIとの協働で制作

**特別な人材がいたわけではありません。** 正しい手順で小さく始めれば、どの会社でも同じことができます



つむぎや株式会社 代表  
葭仲 勝則

## Part 2 | なぜ失敗するのか — 数字で見る現実

**80%**

AIプロジェクトの失敗率（RAND Corporation調査）

**13%**

生成AI導入の効果が「期待を上回った」日本企業（PwC Japan調査）

**約6割**

効果測定をしていない日本企業（＝改善も投資判断もできない）

### 失敗の3大パターン

パターン

起きること

① 目的不在のツール先行

「話題だから」で契約 → 使われないまま解約

② 現場を巻き込まない

トップダウンだけ・現場任せだけ、どちらも定着しない

③ 効果を測らない

成果が見えず、続けるか・広げるかを判断できない

# 失敗を避ける3原則

---

1

## 小さく始める

全社一斉導入ではなく、**1業務だけ**をAI化して確かめる。失敗しても傷が浅く、成功すれば社内の説得材料になります

2

## 数字で測る

「なんとなく便利」で終わらず、**削減できた時間**を測る。月〇時間・年〇万円と言えれば、次の投資判断ができます

3

## 現場と一緒に選ぶ

対象業務は経営者の思い込みではなく、**現場の「面倒」から選ぶ**。毎日その業務をしている人が一番、自動化の価値を知っています

# Part 3 | 小さく始める導入5ステップ

---

## 1 経営者自身が1週間さわってみる

ChatGPT・Claude・Geminiのどれか1つを毎日の業務で使う。成功企業の6割は経営者が主導です

## 2 業務に見える化する

「時間がかかる割に、やることが決まっている仕事」をリストアップ

## 3 効果の大きい1業務を選ぶ

効果×難易度で優先順位をつけ、最初の1つを決める

## 4 小さく試して、数字で測る

数週間で動くものを作り、削減時間を測定する

## 5 成果が出たものだけ広げる

数字で確認できた業務から横展開。並行して社員の教育も

いきなりステップ5から始める（全社導入・一斉研修だけ）のが、典型的な失敗パターンです

# 導入前チェックリスト

---

着手前に、以下を確認しておくかつまずきません

☐ AIで**解決したい課題**

を1つ言えるか（「流行っているから」以外で）

☐ **最初の対象業務**の候補があるか（時間がかかる定型業務）

☐ その業務の**データ**（書類・メール・記録）が手元にあるか

☐ 社内の**利用ルール**（入れてよい情報・ダメな情報）を決めたか

☐ **推進役**は決まっているか（兼任でOK・経営者自身でも）

☐ **効果の測り方**を決めたか（削減時間・件数など）

☐ 困ったときの**相談先**があるか

7つのうち**3つ以上「いいえ」なら、業務の見える化から始めるのがおすすめです**

# お金の話 — 補助金・助成金の使いどころ

| やりたいこと            | 使える制度         | 内容                                              |
|-------------------|---------------|-------------------------------------------------|
| 社員研修（10時間以上のコース型） | 人材開発支援助成金     | 経費の最大75%を助成。 <b>2027年3月終了予定・後継未定</b>            |
| 登録済みAIツールの導入      | デジタル化・AI導入補助金 | 旧IT導入補助金。登録ツールの導入費・クラウド利用料                      |
| カスタムのAI自動化開発      | 原則対象なし        | 現行制度はカスタム開発に使いにくいのが実情。だからこそ「補助金を待たず小さく始める」のが現実解 |

研修の助成金は**期限が迫っています**。研修を検討中なら、今年度中の受講がおすすめです

※申請は自社にて行う必要があります。支給まで数ヶ月かかり、審査により不支給となる場合があります。要件・金額の最新情報は管轄労働局・各制度の公式窓口でご確認ください。

# 相談先の選び方 — 4つのタイプ

---

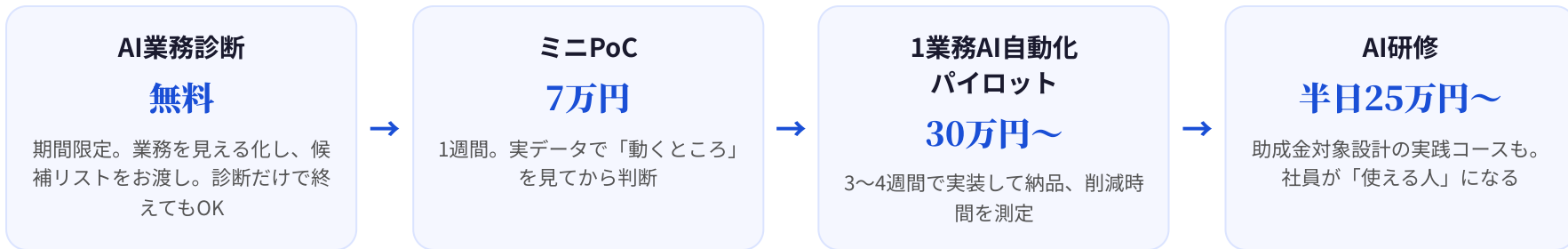
| 相談先           | 費用感      | 向いているケース           |
|---------------|----------|--------------------|
| AIコンサル会社      | 月10～50万円 | 業務分析から定着まで一貫して任せたい |
| ITベンダー・SaaS企業 | 月数千～数万円  | 使うツールが決まっている       |
| 商工会議所・中小企業診断士 | 無料～数万円   | まず情報収集・補助金の相談をしたい  |
| フリーランス・小規模事業者 | 月5～20万円  | 特定領域を柔軟に伴走してほしい    |

**見極めの質問はひとつ**：「ツールの紹介で終わるか、**業務の整理から一緒に考えてくれるか**」

AIの導入は、ツール選びより「どの業務に効くか」の見極めが9割です

# つむぎやがお手伝いできること

このガイドの進め方を、そのままサービスにしています



すべて完結型。小さく始めて、数字で確認しながら進められます

# まずは、30分の無料相談から

「うちの場合、どの業務から始めるのがいい？」  
その整理からお手伝いします

<https://tsumugiya-it.com/contact/>

- 初回相談30分 無料／1名の会社からOK／無理な営業はしません
- 1分でできるAI活用診断も: <https://tsumugiya-it.com/check/>

出典: 中小企業基盤整備機構（2026年3月調査）／株式会社Leach「中小企業AI導入実態調査2026」／RAND Corporation／PwC Japan／MIT Sloan Management Review／株式会社アノテ／リディッシュ株式会社  
各社公表資料・報道。数値は2026年7月時点の公開情報にもとづきます。

つむぎや株式会社